



## 平成24年2月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年10月7日

上場会社名 株式会社 ジェイプロジェクト 上場取引所 東  
 コード番号 3063 URL <http://www.iproject.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎 TEL 052-243-0026  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 林 芳郎  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	4,625	△2.2	54	161.8	116	544.3	72	—
23年2月期第2四半期	4,728	2.0	20	△72.2	18	△71.3	△2	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第2四半期	2,362	29	2,187	34
23年2月期第2四半期	△90	57	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
24年2月期第2四半期	6,569	1,518	1,518	23.1	49,104	48	—	
23年2月期	6,557	1,349	1,349	20.6	45,894	95	—	

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 1,518百万円 23年2月期 1,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	—	0	00	—	0	00
24年2月期	—	0	00	—	0	00
24年2月期 (予想)	—	0	00	—	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,300	△1.9	60	48.4	120	—	62	—	2,012	79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	31,914株	23年2月期	30,414株
24年2月期2Q	1,000株	23年2月期	1,000株
24年2月期2Q	30,694株	23年2月期2Q	29,414株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第2四半期連結累計期間) .....	7
(第2四半期連結会計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の直接的な影響のみならず、福島第一原子力発電所事故によって電力供給不足の問題や生産物への風評被害の問題などが生じ、消費動向は不透明な状況で推移するとともに、欧州や米国の経済不安等に伴う円高、株安が進行するなど、極めて不確実な経済情勢でありました。

外食業界におきましては、サマータイムや土日操業に対応した営業施策の実施、食の安全性への対応など、各社各様の取り組みが見られましたが、雇用環境・所得への不安が高まる中で消費マインドは停滞しており、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは、震災以降不要不急の経費の削減に努めるとともに、収益力を向上させるための取り組みとして「J-Value（ジェイバリュー）」を推進し、FLコスト（売上原価及び人件費）の低減を進めました。出退店におきましては、新規出店6店舗、閉店7店舗に加え、既存店5店舗をリニューアルし、平成23年8月末日現在の業態数及び店舗数は、44業態82店舗（国内81店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,625百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は54百万円（同161.8%増）、経常利益は116百万円（同544.3%増）となり、四半期純利益は72百万円（前年同期は四半期純損失2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

ゼネラルマネージャー制度の充実や仕入業務の効率化によって利益体質の改善に取り組みました。

新規出店につきましては、3月1日にオープンいたしました「芋蔵（いもぞう）蒲田西口店」（東京都大田区）が、震災後においても好調に推移していることから、従来は出店してこなかった郊外のターミナル駅においても今後の出店余地があるものと見込んでおります。また、3月3日には、連結子会社株式会社ディアジェイにおいて「猿Cafe栄町店」（名古屋市中区）をオープンし、従来はターゲットとしてこなかった若い女性層など、集客の幅を広げることで当社グループ全体での収益力の向上に取り組んでおります。加えまして、4月に新業態「活々豚々（いけいけどんどん）」（名古屋市中村区）、5月に新業態「三枘三蔵」（仙台市青葉区）、7月に「猿Cafe（さるかふえ）八事店」（名古屋市中村区）、8月に「猿Cafe名駅桜通店」（名古屋市中村区）をオープンし、合計で6店舗を新規出店いたしました。

また、「まめ魚（まめうお）広小路店」（名古屋市中村区）を「UMEHA（うめは）」として、「にんにくやイオン東浦店」（愛知県知多郡東浦町）を「オッティモイオン東浦店」として、「式六（にろく）」（名古屋市中村区）を「OTTIMO（おっていも）」として改装するなど、合計5店舗をリニューアルオープンするとともに、「うな匠（うなしょう）ヨドバシ横浜店」及び「那古とん（なごとん）」（横浜市西区）など、合計7店舗を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は4,332百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は46百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

#### ② ブライダル事業

近隣の競合施設の増加により事業環境は厳しくなっておりますが、収益面においてコストコントロールに努め、収益改善に取り組みました。その結果、ブライダル事業における売上高は110百万円（前年同期比17.5%減）、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

#### ③ 不動産事業

前連結会計年度において社員寮を売却したこと等により、不動産事業における売上高は100百万円（前年同期比17.3%減）、営業利益は7百万円（同74.3%減）となりました。

#### ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は267百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は7百万円（同17.7%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,569百万円（前連結会計年度末比11百万円増加）となり、負債は5,051百万円（同156百万円減少）、純資産は1,518百万円（同168百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が262百万円（前連結会計年度末比41百万円増加）、売掛金が295百万円（同17百万円増加）となり、前連結会計年度末に比べ総額で35百万円増加し811百万円となりました。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し5,758百万円となりました。これは、有形固定資産について、新規出店及びリニューアルオープン等の設備投資による増加額に比べ、減価償却や店舗撤退に伴う除却等による減少額が大きかったため、有形固定資産が23百万円減少し、店舗撤退等によって差入保証金が11百万円減少したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ115百万円減少し2,150百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が238百万円、短期借入金が28百万円それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し2,900百万円となりました。これは、長期借入金が128百万円減少したことが主な要因であります。

純資産につきましては、第三者割当増資の実施により資本金及び資本剰余金がそれぞれ47百万円増加し、利益剰余金が72百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて168百万円増加し1,518百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが352百万円（前年同期比237.6%増）の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが3百万円の資金増（前年同期は278百万円の資金減）、財務活動によるキャッシュ・フローが313百万円（前年同期比384.5%増）の資金減となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は162百万円となり、前連結会計年度末の119百万円に比べ42百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は352百万円（前年同期比237.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を155百万円、非資金項目である減価償却費を233百万円計上し、賞与引当金の増加額が58百万円あったことなどによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は3百万円（前年同期は278百万円の使用）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が56百万円、差入保証金の差入による支出が59百万円あったのに対し、有形固定資産の売却による収入が110百万円、差入保証金の回収による収入が24百万円あったことなどによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は313百万円（前年同期比384.5%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が567百万円あったのに対し、長期借入れによる収入が200百万円、株式の発行による収入が93百万円あったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の見通しにつきましては、東日本大震災直後に一時的に極端な需要の減少が生じ、その後の電力供給不足の問題や風評被害等の発生によって、消費動向が極めて不透明な状況で推移しておりましたが、「活々豚々」や「UMEHA」等の新業態の展開、子会社による「猿Cafe」の展開など、顧客層を広げたことなども功を奏し、売上高は堅調に回復してまいりました。また、収益力を向上させるための取り組みとして「J-Value」を推進し、FLコスト（売上原価及び人件費）の低減に成果が得られていることに加え、震災以降不要不急の経費の削減に努め、販売費及び一般管理費についても改善を進めました。

これらの結果、平成23年7月8日に公表いたしました連結業績予想を平成23年10月3日に修正し、売上高9,300百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益60百万円（同48.4%増）、経常利益120百万円（同12.6倍）、当期純利益62百万円（前年同期は当期純損失315百万円）を見込んでおります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法により算定しております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は1,788千円、税金等調整前四半期純利益は28,133千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は51,628千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	262,391	220,634
売掛金	295,407	277,423
有価証券	343	342
商品及び製品	138	162
原材料及び貯蔵品	58,677	56,267
その他	212,488	236,355
貸倒引当金	△17,884	△14,683
流動資産合計	811,561	776,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,560,244	2,567,603
土地	1,131,324	1,131,324
その他（純額）	225,597	241,557
有形固定資産合計	3,917,166	3,940,486
無形固定資産	35,157	39,334
投資その他の資産		
投資有価証券	11,706	9,090
差入保証金	1,467,713	1,479,540
その他	326,308	312,948
投資その他の資産合計	1,805,728	1,801,580
固定資産合計	5,758,052	5,781,401
資産合計	6,569,613	6,557,903

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成23年8月31日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成23年2月28日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	333,083	350,491
短期借入金	108,326	136,330
1年内返済予定の長期借入金	732,150	970,475
未払法人税等	97,622	26,891
賞与引当金	58,665	—
その他	821,092	782,274
流動負債合計	2,150,940	2,266,463
固定負債		
長期借入金	2,567,523	2,696,221
資産除去債務	49,793	—
その他	283,341	245,265
固定負債合計	2,900,657	2,941,486
負債合計	5,051,598	5,207,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,531	701,122
資本剰余金	678,531	631,122
利益剰余金	165,352	92,843
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	1,516,415	1,349,088
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	1,600	865
評価・換算差額等合計	1,600	865
純資産合計	1,518,015	1,349,954
負債純資産合計	6,569,613	6,557,903



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	4,728,556	4,625,869
売上原価	1,445,651	1,372,144
売上総利益	3,282,904	3,253,725
販売費及び一般管理費	3,262,056	3,199,135
営業利益	20,848	54,590
営業外収益		
受取利息	395	150
協賛金収入	20,485	77,549
設備賃貸料	6,732	6,816
その他	7,883	19,207
営業外収益合計	35,497	103,722
営業外費用		
支払利息	30,607	31,145
その他	7,724	11,109
営業外費用合計	38,332	42,255
経常利益	18,013	116,057
特別利益		
固定資産売却益	—	102,499
貸倒引当金戻入額	1,258	275
解約返戻金	14,311	—
特別利益合計	15,570	102,775
特別損失		
貸倒引当金繰入額	8,615	3,468
固定資産売却損	10,257	66
固定資産除却損	321	—
店舗閉鎖損失	—	33,629
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,345
特別損失合計	19,195	63,509
税金等調整前四半期純利益	14,388	155,323
法人税等	17,052	82,814
少数株主損益調整前四半期純利益	—	72,508
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,663	72,508

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,403,159	2,457,915
売上原価	750,965	721,371
売上総利益	1,652,194	1,736,543
販売費及び一般管理費	1,631,997	1,649,903
営業利益	20,196	86,640
営業外収益		
受取利息	172	73
協賛金収入	7,098	6,170
設備賃貸料	3,361	3,406
違約金収入	—	7,556
その他	2,677	3,769
営業外収益合計	13,310	20,976
営業外費用		
支払利息	14,211	14,809
為替差損	—	4,904
その他	3,666	3,214
営業外費用合計	17,878	22,928
経常利益	15,628	84,688
特別利益		
固定資産売却益	—	9,999
貸倒引当金戻入額	187	258
特別利益合計	187	10,258
特別損失		
貸倒引当金繰入額	8,615	2,806
店舗閉鎖損失	—	33,629
特別損失合計	8,615	36,435
税金等調整前四半期純利益	7,199	58,511
法人税等	9,118	34,504
少数株主損益調整前四半期純利益	—	24,006
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,918	24,006

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,388	155,323
減価償却費	284,669	233,286
のれん償却額	—	505
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,327	58,665
受取利息及び受取配当金	△395	△150
支払利息	30,607	31,145
有形固定資産売却益	—	△102,499
有形固定資産売却損	10,257	66
有形固定資産除却損	321	—
解約返戻金	△14,311	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,345
売上債権の増減額(△は増加)	△78,481	△17,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,568	△2,393
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,628	△17,392
その他	△35,803	30,868
小計	229,383	395,786
利息及び配当金の受取額	413	150
利息の支払額	△32,826	△30,753
法人税等の支払額	△92,591	△12,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,379	352,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△225,611	△56,579
有形固定資産の売却による収入	14,000	110,121
無形固定資産の取得による支出	△17,417	△339
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,481	—
差入保証金の回収による収入	22,098	24,105
差入保証金の差入による支出	△63,089	△59,231
その他	△11,875	△14,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,413	3,093
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,100	△28,004
長期借入れによる収入	493,171	200,000
長期借入金の返済による支出	△503,079	△567,023
リース債務の返済による支出	△5,595	△11,521
株式の発行による収入	1,000	93,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,602	△313,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△238,637	42,445
現金及び現金同等物の期首残高	361,732	119,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,095	162,200

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

	飲食事業 (千円)	ブライダル 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,252,521	50,865	55,586	44,186	2,403,159	—	2,403,159
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,556	—	5,100	104,280	124,936	△124,936	—
計	2,268,077	50,865	60,686	148,466	2,528,096	△124,936	2,403,159
営業利益又は営業損失（△）	14,645	△14,958	13,255	5,124	18,067	2,128	20,196

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分の主要な内容

飲食事業・・・居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供

ブライダル事業・・・挙式・披露宴サービスの提供

不動産事業・・・不動産の賃貸・管理業務等

その他の事業・・・広告代理業等、卸売業

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

	飲食事業 (千円)	ブライダル 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,425,549	133,560	111,700	57,746	4,728,556	—	4,728,556
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,824	—	10,200	179,934	232,958	△232,958	—
計	4,468,373	133,560	121,900	237,680	4,961,515	△232,958	4,728,556
営業利益又は営業損失（△）	△2,821	△17,593	28,378	9,247	17,210	3,637	20,848

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分の主要な内容

飲食事業・・・居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供

ブライダル事業・・・挙式・披露宴サービスの提供

不動産事業・・・不動産の賃貸・管理業務等

その他の事業・・・広告代理業等、卸売業

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年8月31日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の金額の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、居酒屋、レストランなどの飲食事業を中心に、ブライダル事業、不動産事業等の複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業別のセグメントから構成されており、「飲食事業」、「ブライダル事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「飲食事業」は、居酒屋、レストラン等での飲食サービスを提供しております。「ブライダル事業」は、挙式・披露宴サービスを提供しております。「不動産事業」は不動産の賃貸・管理業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,301,541	110,230	87,917	4,499,689	126,180	4,625,869	—	4,625,869
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30,480	—	12,945	43,425	141,557	184,983	△184,983	—
計	4,332,021	110,230	100,862	4,543,115	267,737	4,810,852	△184,983	4,625,869
セグメント利益又は損失(△)	46,840	△9,152	7,279	44,967	7,610	52,578	2,012	54,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,012千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,314,805	38,520	43,050	2,396,375	61,539	2,457,915	—	2,457,915
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,602	—	7,838	18,441	74,380	92,821	△92,821	—
計	2,325,407	38,520	50,888	2,414,816	135,920	2,550,737	△92,821	2,457,915
セグメント利益又は損失（△）	89,827	△8,350	4,150	85,627	1,442	87,069	△429	86,640

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△429千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年3月28日付で、サントリービア&スピリッツ株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が47,409千円、資本準備金が47,409千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が748,531千円、資本準備金が678,531千円となっております。